

乍恐奉願口上之覺

一 私先祖之者義元和四年より元錄^(マ)九年迄七拾八年

之間竹嶋渡海仕其功ヲ以乍恐

公方様

御太守様^{江茂}御目見并御時服等拝領

被為仰付殊^ニ家録として魚鳥口錢取被

仰付家名相続仕難有仕合奉存候、尚又正徳五年
以来御用魚相勤来候處此度

中将様御滞

城被為遊候^{ニ付而者}忝善右衛門義御用魚類為

御伺日々相勤殊^{ニ網御用等茂被}

仰付重々難有仕合奉存候、依之乍恐代々帶刀
御免被仰付被為下候様奉願上候、此段宜様偏
奉願上候、以上

大谷九之右衛門

元治二年丑正月日

澤貞三郎様

築瀬十郎様

寺本平太様